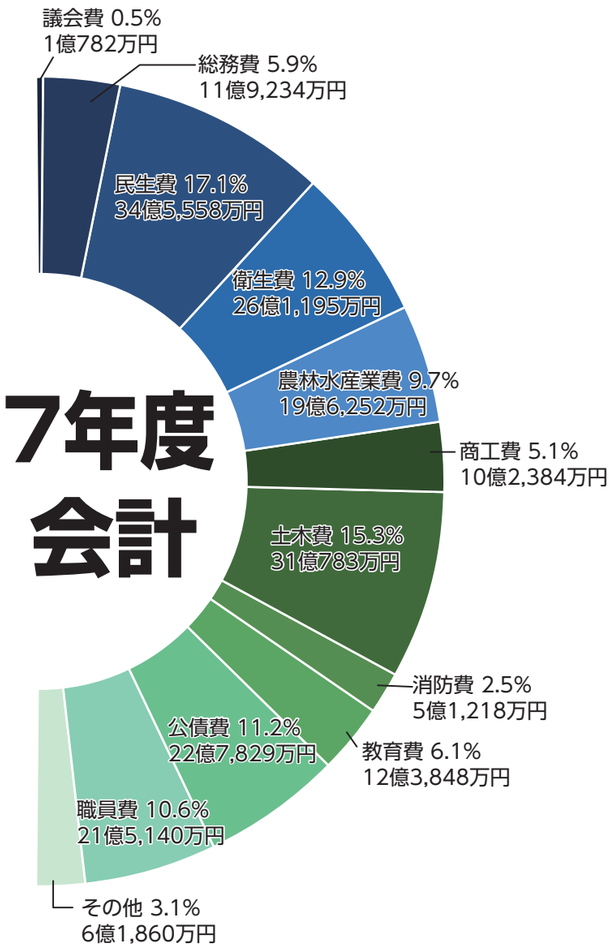
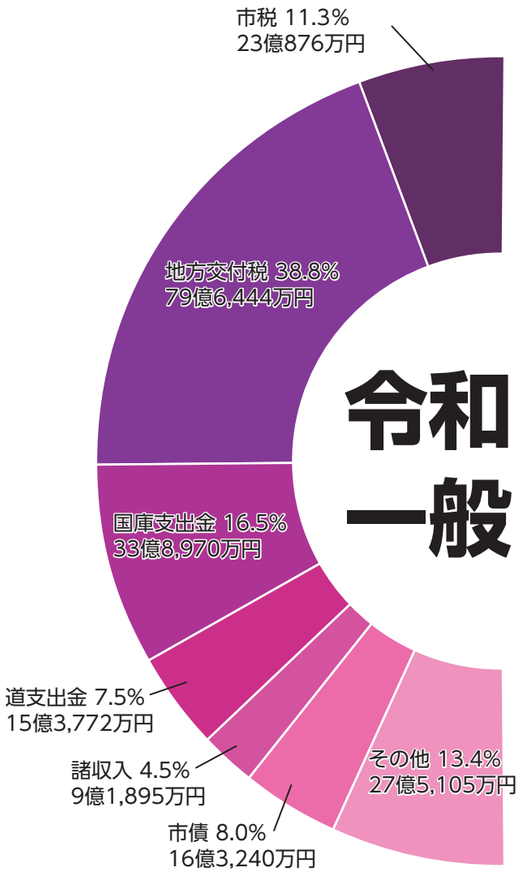
令和7年度決算 認定
議会が厳しくチェック！

第3回定例会(9月議会)では、6人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、令和7年度決算について9月16日、17日、18日の3日間、書面審査や総括質疑を行うなど集中的に審査を行いました。

歳出
202億6,083万円



歳入
205億302万円



令和7年度決算と9月議会の流れ

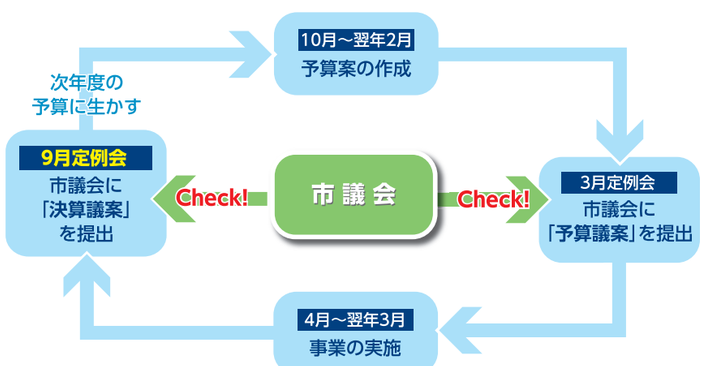
3月31日	令和７年度事業終了
4月	⬆出納整理期間⬇ ３月31日で会計年度は終わりますが、光熱費などは４月１日以降に請求されるため、前年度の支払等の整理期間となります。
5月	
6月	決算書作成開始 決算書や附属書類などを作成
7月	監査委員による決算監査
8月	監査委員が決算書や附属資料をもとに審査し、意見書を作成
9月定例会	
9月8日	本会議①　一般質問 ・議案や令和７年度決算認定に関する提案説明 ・決算審査特別委員会の設置と、決算認定議案の付託 決算審査特別委員会①
9月9日	本会議②　一般質問 決算審査特別委員会②
9月10日	本会議③　一般質問
9月11日	常任委員会
9月16日	決算審査特別委員会③ 書面審査
9月17日	決算審査特別委員会④ 書面審査
9月18日	決算審査特別委員会⑤ 書面審査・総括質疑
9月28日	本会議④　決算認定の採決 広報編集委員会①
10月20日	広報編集委員会②

令和７年度各会計別決算

会計区分		歳入決算額	歳出決算額
一般会計		205億302万円	202億6,083万円
特別会計	介護保険	25億3,016万円	24億7,603万円
	国民健康保険	26億3,701万円	26億2,269万円
	後期高齢者医療	4億7,874万円	4億7,790万円
	小　計	56億4,591万円	55億7,662万円
企業会計	水道事業	6億4,181万円	7億374万円
	下水道事業	16億1,043万円	19億6,037万円
	病院事業	52億3,835万円	59億3,876万円
	小　計	74億9,059万円	86億287万円
合　計		336億3,952万円	344億4,032万円

予算から決算 そして次の予算へ

決算審査は次の予算編成につなげるための大事な審査であり、未来に向けたサイクルの一環といえます。



決算審査特別委員会総括質疑



山本副委員長

総合運動公園体育施設維持管理

Q 令和6年度から決算額が大幅に増加した理由を伺う。

A 令和7年度決算額は約1億753万円で、6年度と比較して約700万円増加しました。主な理由は陸上競技場の第3種公認検定に必要な改修工事費として約6745万円を支出したほか、公認検定基準を満たすための備品購入費が605万円増加したためです。

有害鳥獣駆除

Q 事業実績と今後の取組を伺う。

A 有害鳥獣の捕獲や処理施設の運営、被害防止対策等の支援を実施しており、令和7年度は総額約3243万円を支出しました。有害鳥獣処理施設での処理頭数は過去最高となっており、今後も有害鳥獣の生息数や捕獲頭数の増加が見込まれるため、引き続き被害防止と迅速な対応に万全を期してまいります。

鶴岡委員

移住・定住推進

Q 移住体験住宅の利用状況、移住実績、移住者への助成実績を伺う。

A 移住体験住宅は4戸設置しており、令和7年度は21組43人が利用し、移住実績は19件42人でした。また、移住者支援として、住宅の新築・購入者に対する商品券贈呈は8件12万円、北海道外からの移住者に対する引っ越し費用助成金は12件68万円を交付しました。



遠距離通学費助成

Q 助成基準と内訳について伺う。

A 学校統合により閉校となった学校区の児童生徒や通学距離が一定基準を超える児童生徒を対象に、通学費助成を行っています。音江小学校へ通学する旧向陽小学校区の児童17人に約1367万円、一已中学校へ通学する北新地区の生徒11人に約50万円、教育支援センター通室生徒に約10万円を助成しました。

北村委員

公共交通確保対策（鉄道）

Q 増額の主な理由を伺う。

A 令和8年3月31日をもって運行を終了したJR留萌本線のラストイヤー関連事業を実施したことが主な理由です。経費の内訳としては、臨時列車の運行やヘッドマーク、関連グッズ作成経費として約1217万円、深川駅及び北一已駅で開催したラストラン見送りセレモニー経費として約91万円を支出しています。



農地利用効率化等支援交付金

Q 本事業の令和7年度の事業内容と、過去3か年の実績件数を伺う。

A 地域計画に基づき農業機械等の導入経費を国が支援する事業であり、令和7年度は導入経費の10分の3以内、1件当たり600万円を上限とし、田植機やトラクターなど6件、総額約2359万円を助成しました。令和4年度は13件、5年度は1件、6年度は2件に助成しました。

有働委員

高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施

Q 事業内容と実績を伺う。

A 保健師や管理栄養士による家庭訪問の実施や、通いの場における健康講話やフレイルチェックなどを実施しています。令和7年度は24か所の通いの場で3一3人を対象にフレイルチェックを実施し、身体的フレイルに該当した37人に対し、訪問による支援等を行いました。



分流式下水道等経費

Q 事業内容について伺う。

A 汚水と雨水を別々に排除する分流式下水道を採用しており、使用料収入のみでは賄えない資本費の一部を総務省の繰出基準に基づき、一般会計が負担しています。令和7年度は減価償却費や企業債償還利息、使用料収入を基に算定し、約1億394万円を一般会計から繰り入れました。

田畑委員

福祉除雪サービス助成事業

Q 制度改正の内容と令和7年度の給付実績について伺う。

A 制度の見直しにより門口等除雪は、従来の全額助成から対象経費の3分の2以内の助成、上限額を7万円に変更し、家周り等除雪は、新たに上限額5万円を設けました。給付実績は、門口等除雪が65件、家周り等除雪が26件、合計91件、約365万円を助成しました。



保育園留学

Q 事業実績を伺う。

A 本事業は、多度志地区において市営住宅を活用した体験住宅3戸を整備し、留学先となる保育事業者と連携し、令和7年度から事業を開始しました。令和7年度は3世帯の利用があり、留学家庭からは、子供の留学体験や受入れ体制について好評を得ており、引き続き事業周知に取り組んでまいります。